



飛沫を浴びて



「壱岐高校の「ハレ」の日」

教頭 下川 拓朗

今年の9月も残暑が厳しく、最高気温が30度を超える“真夏日”が続きました。朝夕過ごしやすくなったとはいえ、日中の気温の変化が著しく、体調管理に気を使う毎日です。

本校にとって、9月と言えば、煌雪祭（体育祭・文化祭）の月。行事の成功に向け、学校全体が一つになる“壱岐高らしさ”に溢れる時期です。昨年度より、体育祭は5月開催となったため、令和7年度の9月煌雪祭も文化祭の成功に向けた雰囲気学校全体が包まれました。

1学期後半から学級や部活動で話し合いをくり返ししながら、8月下旬より準備活動に入りました。初日が臨時休校となり、予定していた活動時間を短縮せざるを得ない状況でしたが、限られた時間の中で創り上げた展示・発表はどれも、“壱岐高らしさ”を感じさせるものでした。

新たな試みとして、生徒・職員一人ひとりの想いをのせた風鈴（“手づくり風鈴”）を制作し、1号館から2号館に展示しました。“手づくり風鈴”を長糸につなぎ、一つの空間に展示した様子は、学校全体の一体感を感じさせてくれました。今回の特別企画の運営に携わってくれた実行委員の皆さんには心から感謝しています。

本年度は、ステージ発表が多い煌雪祭（文化祭）でもありました。脚本・演出には、オリジナリティがあり、観ている私たちの反応を予想した構成であったように思えます。各学級・部活動の創意工夫が分かる内容であり、限られた時間によくここまで準備できたものだと感心する場面が多くありました。最後は、吹奏楽部の演奏に合わせて、全員で校歌を斉唱し、一体感に包まれ文化祭を終えることができ、壱岐高校の力を改めて感じさせる一日でした。

煌雪祭（文化祭）を終え、「ハレ」と「ケ」という言葉を思い出しました。この2つの言葉は、民俗学者として著名な 柳田國男 氏が提唱した世界観で、民俗学（日本の暮らしや文化を研究する学問）ではとても大切な言葉として位置付けられています。例えば、年末年始の行事の日は「ハレ」の日とされ、ご馳走を振る舞うなど普段と違った空間（食や所作）が用意されます。これに対して、普段の生活である日常を表す言葉として「ケ」の日があり、「ハレ」と「ケ」を交互に巡らせることで、社会や心のリズムを保ち、日本人は暮らしへの彩りを保ってきました。

煌雪祭（文化祭）では、生徒・保護者等・職員、そして地域の方々とステージ発表や展示を鑑賞し、いつもと違った空間を創造する壱岐高校の「ハレ」の日とすることができました。これにより、学級・学年・部活動の“集団の力”も大きく伸びたようです。「ハレ」の日を大切にできた証です。

さて、令和7年度も10月を迎え、年度でみれば折り返しとなります。普段の生活である日常を表す「ケ」の日も大切に積み重ね、生徒の皆さんが大きく成長する2学期であってほしいと願っています。いつもお伝えしているように、生徒の皆さんには自分と向き合い、自他を大切に、新たな挑戦を試みる後半戦にしてほしいと願っています。そして、生徒の挑戦を支援していく壱岐高校であり続けたいと考えています。後半戦のスタートです！



特別企画（手作り風鈴）の様子

◆煌雪祭(文化祭) (9/5、6)

9月5日(金)、6日(土)に煌雪祭(文化祭)が行われました。今年のテーマは「-Infinity 今しかできない青春と挑戦を-」。生徒会のオープニングセレモニーから始まり、各クラスの展示や劇、有志によるパフォーマンス、文化部による展示等、レベルの高いものを披露してくれました。また、壱岐高校と虹の原特別支援学校壱岐分校高等部の生徒の心温まる合唱もありました。合唱後、会場に拍手が湧き起こりました。

ご来校いただきました保護者等の皆様、地域の方々ありがとうございました。



◆今月の玲瓏星



『新たな自分を切り拓く』

2年4組 池渚 ^{かんた} 寛太、2年4組 山口 ^{こうき} 晃輝

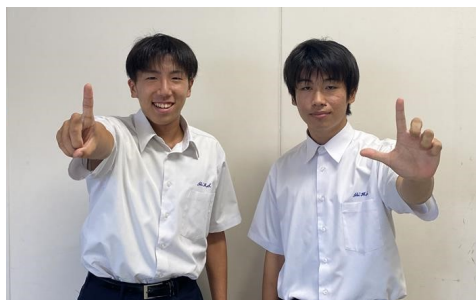
今月の玲瓏星は、大阪関西万博イベントの一環として開催された、ヤング・アイランダーズ・フォーラムジャパン in EXPOにプレゼンターとして参加した池渚 寛太さん、山口 晃輝さんを紹介します。

同イベントは、離島に住む若者が、島での暮らしを通して得た学びや気づき、魅力を発信するもので、プレゼンターとして奥尻、五島、対馬、徳之島の高校生が参加しました。

池渚 寛太さんは、壱岐での青春をテーマに、海など自然が身近にある島人の日常を、山口 晃輝さんは、神社や祠が数多くあることや、蜃の名所、食文化を紹介しました。

フォーラムに参加した感想として、池渚 寛太さんは、「人前で話すことは苦手だったが、このフォーラムに参加することを通して少し克服できた。また、他校の生徒や外部の方々との交流を通して、人脈も広げることができ、人間として成長できた。」と述べました。

壱岐高校のみんなに伝えたいことがあるか尋ねてみると、山口 晃輝さんは、「何事もチャレンジしてみることだと思います。植松第2学年主任が常日頃、『迷ったらgo!』とよく口にされるが、まさしくその通りだと感じました。みなさんも興味があるプロジェクトやサミットがあれば、積極的に参加してみたらどうでしょうか。」とコメントを残しました。



池渚 寛太さん(左)と山口 晃輝さん(右)

◆ 各部活動報告

【野球部】

佐世保地区新人戦予選リーグ(8/18、19)

4-9 vs大崎 負け

2-0 vs佐世保工業 勝ち

佐世保地区新人戦決勝トーナメント準々決勝 (8/26)

3-4 vs九州文化学園 負け

【陸上競技部】

九州陸上競技選手権大会 (8/22、23) 於大分

男子400m 野田絢斗 予選組3着

男子400mH 野田絢斗 予選組4着

【女子ソフトテニス部】

令和7年度第58回長崎県高等学校ソフトテニス選手権

島原大会 (8/29、30)

(3回戦)

板川・岩川ペア 対 島原 4-2 勝ち

富永・江口ペア 対 長崎東 1-4 負け ベスト64

(4回戦)

板川・岩川ペア 対 大村 0-4 負け ベスト32

令和7年度佐世保地区高等学校新人体育大会ソフトテニス競技 (9/13)

(3回戦)

板川・岩川ペア 対 清峰 4-1 勝ち

富永・江口ペア 対 猶興館 4-0 勝ち

(準々決勝)

板川・岩川ペア 対 九文 1-4 負け **ベスト8、県大会出場**

富永・江口ペア 対 対馬 2-4 負け **ベスト8、県大会出場**

(県新人大会出場決定戦)

浦川・田町ペア 対 佐南 4-1 勝ち **ベスト32、県大会出場**

【男子ソフトテニス部】

令和7年度第58回長崎県高等学校ソフトテニス選手権

島原大会 (8/29、30)

(2回戦)

山下・高原 対 大崎 4-0 勝ち

西永・寺田暉 対 島原工業 1-4 負け

(3回戦)

山下・高原 対 長崎西 1-4 負け(ベスト64)

令和7年度佐世保地区高等学校新人体育大会ソフトテニス競技 (9/13)

(3回戦)

山下・高原ペア 対 佐エ 2-4 負け **ベスト32、県大会出場**

大川・山口ペア 対 佐エ 0-4 負け **ベスト32、県大会出場**

【女子バスケットボール部】

令和7年度第56回県北地区高等学校長崎新聞社杯バス

ケットボール大会(第2回県北地域リーグ)女子 (9/14)

vs清峰 49-59 勝ち vs猶興館 69-57 負け

【男子バスケットボール部】

令和7年度第56回県北地区高等学校長崎新聞社杯バス

ケットボール大会(第2回県北地域リーグ)男子 (9/14)

vs猶興館 49-34 負け vs佐世保南 50-66 勝ち

◆ 行事予定(9/30現在)

10/21	火	
22	水	
23	木	LHR(高総体駅伝・県総文祭壮行式)
24	金	
25	土	オープン模試(3年)
26	日	
27	月	
28	火	海洋生物観察実習(2年理系、~30日) 高総体駅伝
29	水	コース秋季巡検
30	木	
31	金	
11/1	土	創立記念日 対外模試(1~3年)
2	日	対外模試(2、3年)
3	月	【文化の日】
4	火	ライブラリーフェスティバル(~5日)
5	水	京都府立亀岡高校交流(2年)
6	木	校内マラソン大会
7	金	県総文祭総合開会式
8	土	オープン模試(3年) 第2回コース体験入学
9	日	第2回英検二次
10	月	
11	火	あいさつ運動(~13日)
12	水	
13	木	LHR(薬物乱用防止教室) 考査時間割発表 考査前部活動休止(~26日)
14	金	
15	土	大学入学共通プレテスト(~16日)
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	期末考査(1、2年)

発表内容 ①三島でのフィールドワークで初体験 ～ 原島の畑や海辺で石器探し ～



石器研ぎを全員が体験

見事に石包丁が完成!!

②県埋蔵文化財センターの村上先生より、隕鉄について説明を受けました。～プレゼンテーションより一部抜粋～

*隕鉄とは、宇宙から地球に落下した隕石の一種である。



約5000年前

隕鉄は、鉄が歴史・文化や社会にどのような影響を与えたのかを知ることができ、
なっていることがわかりました。

上海外国語大学での授業・生活について～プレゼンテーションによる発表～



レベル別での授業
クラスメイトは多国籍
英語と中国語のみ!



中学校での発表



光明中学との交流



上海外国語大学～研修～

◇代表して、三嶋恵美さんが研修を終えての感想を中国語で述べました。人とのつながりができ、感謝で一杯です。

光明中との交流で、私たちはさらに中国についての理解と、友情を深めることができました。



みんなで大学構内の学食を楽しみました。



大学内での過ごし方。-寮生活編-

- ・自主学習。
- ・休息。
- ・ジムに行く。
- ・外国の方と交流。



企業研修

今後の就職先の選択肢が広がるきっかけとなりました。

高崎市主催
シーカヤック
体験

協力

安全



美技



離島留学生といきっこ留学生との交流会では、輝く笑顔と優しさに天気も味方しました。貴重な体験に、高崎市の方々・出会いの村の皆様へ感謝。